

【食品表示法】 可能な限り表示する様務める 特定原材料に準ずる21品目の詳細について

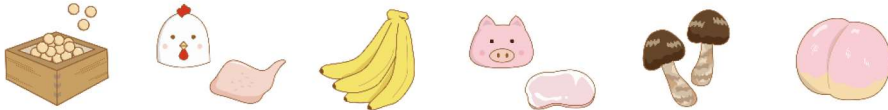
〈アーモンド〉 〈あわび〉 〈いか〉 〈いくら〉 〈オレンジ〉 〈カシューナッツ〉



〈キウイフルーツ〉 〈牛肉〉 〈くるみ〉 〈ごま〉 〈さけ〉 〈さば〉



〈大豆〉 〈鶏肉〉 〈バナナ〉 〈豚肉〉 〈まつたけ〉 〈もも〉



〈やまいも〉 〈りんご〉 〈ゼラチン〉



「可能な限り表示をするよう努めること」とされています。

加工食品は、原材料が変更される事があり、食べた事のある食品でも、原材料が変更されて除去の必要な食物が使用されている事もあります。また、似た様な食品でもメーカーにより原材料が異なり、隠し味などで思いがけない原材料が使われている場合もあるので、購入や使用のつど原材料表示を確かめることが大切です。



【環境】 プラスチック削減に向けた 大手企業10社のCSR事例

ごみを減らすキーワードである3R(Reuse・Reduce・Recycle)があるが今回はプラスチック問題に関する解決策の中でも、ごみを減らすという考え方である「Reduce(削減)」に焦点を当てて、国内外の大手企業取り組みを紹介したい。



スターバックス : 2020年まで店舗でのプラスチックストロー使用禁止



マクドナルド : イギリスとアイルランドで紙製ストロー導入。2025年までにプラスチックストロー廃止



米ディズニー : 総てのパークやリゾートで使い捨てストロー、マドラー廃止



イケア : 店舗とレストランで7種類の使い捨てプラ製品を廃止



すかいらーく : 2020年までにプラスチックストローを順次廃止

ハイアット : ホテルで使い捨てプラスチックストロー、ドリンクピック廃止

ユニリーバ : パッケージ使用量1/3。2025年までにリサイクルプラスチックを最低25%使用

三井住友海上保険 : 社員食堂でプラスチックストロー、カップを紙製に切替

ボルボ : 2019年までにオフィス、社員食堂、イベントで使い捨てプラ廃止

マリオットホテル : 2019年夏プラスチックストロー提供廃止



HYATT REGENCY



Unilever



MS&AD 三井住友海上



VOLVO



Marriott HOTELS · RESORTS · SUITES

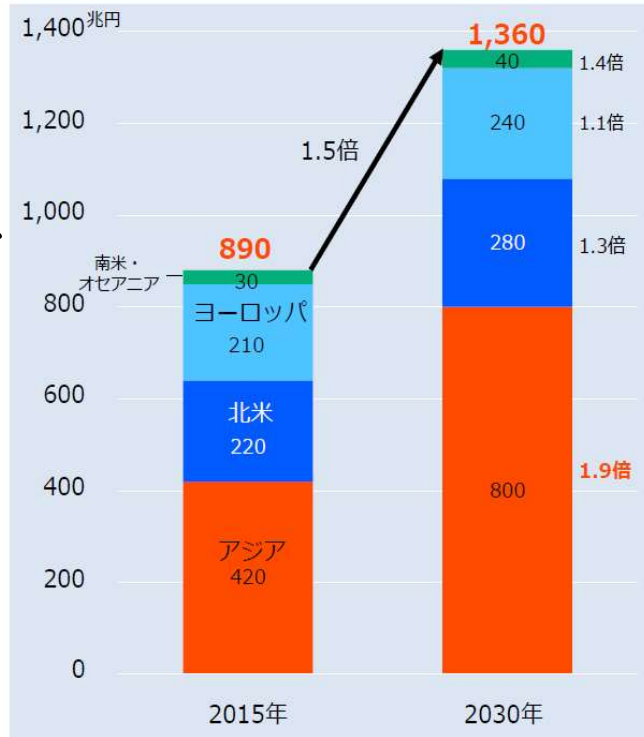
以上のように現在では「Reduce」が注目されています。例えば欧州ではゴミの70%がリサイクルされず埋め立てられ、日本では家庭から出るプラごみの84%回収される一方で、そのほとんどが中国へ輸出されていた。しかし中国がプラごみ輸入を禁止したため全国のプラごみが行き場を失っている状況です。リサイクルする過程で大量のエネルギーを消費するためエネルギー効率が良いとはいえず再生品を作るよりそもそもごみを減らすことが今のトレンドです。

【HACCP】HACCPと輸出について

国内の飲食料市場規模は、今後、人口減少や高齢化の進展により、**減少**する見込み。

一方、世界人口の増加と食生活の変化により、**世界の食料需要は増加**する見込みであり、国内需要だけでなく、**海外需要も獲得**していくことが必要。

食品産業が発展するには、輸出拡大が不可欠で、そのためにも国際規格であるコーデックスHACCPに取り組む必要があります。



出典：世界の飲食市場規模の推計（農林水産政策研究所）

【食品衛生法】営業許可制度の見直しについて

V. 営業許可制度の見直し及び営業届出制度の創設

令和3年6月1日より施行

主な変更点

新設する業種

- ・漬物製造業※
- ・水産製品製造業※
- ・液卵製造業
- ・食品の小分け業

※多くの自治体が既に条例で許可業種としている

→ 3年以内に申請が必要

統合し、1業種での対象食品を拡大する業種

- ・飲食店営業(喫茶店営業を含む)
- ・菓子製造業(パン製造業・あん類製造業を含む)
- ・みそ又はしょうゆ製造業(みそ加工品・醤油加工品を含む)
- ・食用油脂製造業(マーガリン・ショートニング製造業を含む)
- ・複合型そうざい製造業※
- ・複合型冷凍食品製造業※

※HACCPに基づく衛生管理を前提として、菓子、そうざい、めん類等、多品目への対応可

→ いずれかの申請が切れる
タイミングで新たに申請が必要

※その他変更点については次号にて掲載します。